

# ふるさと 資料紹介

＝⑦⑧＝

## 史料と地名からみた

## 地区の歴史33

### 下米田(三)

前回に引き続き、今回も米田の戦国時代のお話をしましょう。

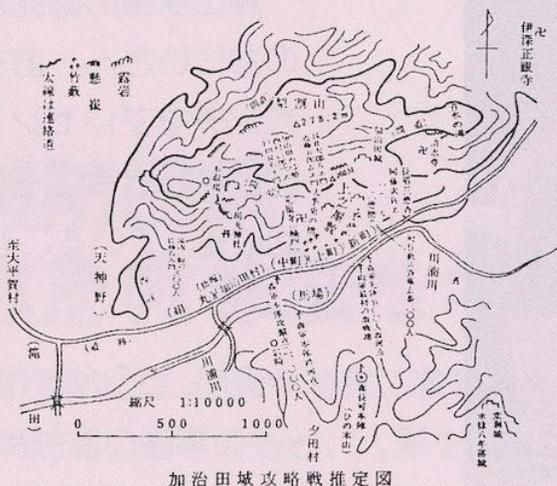
京都で起こった本能寺の変を知った肥田玄蕃允ひたげんばのじょうは、金山城への奇襲を計画する以前、かつて森氏に奪われた前野城と馬串砦を奪還しています。「前野・小山の戦い」金山城への奇襲は、その勢いに乗った行動でもありませんでした。

一方、森長可もりながよしはこの計画を事前に察知すると、7月2日未明に前回奪われた前野城等を再占拠して、さらには米田城に先制奇襲攻撃を仕掛けます。この攻撃に対して、病気のため城から

出陣できなくなった玄蕃允は、いったん加治田城（現富加町）へ逃げ込みます。しかし、ついに森軍はこの城をも7月4日に攻め落としてしまいます。こうして米田は、完全に森氏の支配するところとなったのです。

以上は、「米田城の戦い」「加治田城の戦い」と呼ばれるもののあらましです。

本能寺の変はとても有名ですが、その変の影響は、各地に大きな動揺をもたらしました。米田周辺の合戦からも、それを知ることができるようでしょう。（合戦の詳しい経過については、『兼山記』などの史料を参照のこと）



▲『兼山町史』（昭和47年）より

計画中の博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課（文化会館内／■内四〇八）まで情報をお寄せください。